

豊洲市場における空気調査及び地下水質調査結果（概要）

1 調査の概要

(1) 空気調査【資料1】

- ・建物1階（6箇所）、屋外（5箇所）、地下ピット（10箇所）の21箇所  
で、ベンゼン、シアン、水銀を測定
- ・いずれの測定結果についても、大気環境基準値等に適合

(2) 地下水質調査【資料2】

- ・これまでの調査で濃度が高い箇所等から選定した46箇所で地下水質調査  
を実施。

	選定理由	頻度(月)	平成29年										平成30年									
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
46箇所	濃度確認 29箇所	これまでの調査で 濃度が高い箇所を 中心に選定	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	全体確認 17箇所	街区等の バランスを 考慮し選定	3か月 ごと			○			○			○			○			○		○		

- ・濃度確認モニタリング（29箇所）の最高濃度の推移（mg/L）

	H29.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H30.1月
ベンゼン	1.0	1.0	1.1	1.0	1.2	1.6	1.4	1.1	1.3	1.2
シアン	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.4
ヒ素	0.034	0.033	0.030	0.031 <sup>※2</sup>	0.023	0.028	0.030	0.032	0.033	0.030

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	第9回 <sup>※1</sup>
ベンゼン	1.1	1.4	1.4	1.4	1.7	1.3	1.4	1.3	1.4	0.79
シアン	1.3	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2
ヒ素	0.034	0.035	0.033	0.036	0.032	0.037	0.040	0.038	0.038	0.038

※1 平成28年11月～12月に採水した、第9回地下水モニタリングの結果（201箇所）

※2 全体確認モニタリング井戸も合わせた46箇所の最高濃度：0.040 mg/L（M31-2）

【参考】直近の測定結果における46箇所の環境基準値超過箇所数

	H29.9月公表 濃度29箇所 (8月採水) 全体17箇所 (7月採水)	H29.12月公表 濃度29箇所 (11月採水) 全体17箇所 (10月採水)	H30.4月公表 濃度29箇所 (2月採水) 全体17箇所 (1月採水)	H30.7月公表 濃度29箇所 (5月採水) 全体17箇所 (4月採水)	今回公表 46箇所 いずれも 10月採水	(参考) 第9回地下水 モニタリング 結果
超過箇所数	38 / 46	38 / 46	39 / 46	37 / 46	36 / 46	40 / 46
ベンゼン	25 / 33	24 / 33	24 / 33	23 / 33	24 / 33	24 / 33
シアン	22 / 31	22 / 31	22 / 31	22 / 31	21 / 31	24 / 31
ヒ素	13 / 18	13 / 18	14 / 18	12 / 18	12 / 18	13 / 18

環境基準値：ベンゼン0.01mg/L、シアン検出されないこと(定量下限値0.1mg/L)、ヒ素0.01mg/L

## 2 専門家会議の評価の概要【資料3】

### (1) 空気調査結果

- ・引き続き、地下ピット内の空気について水銀等ガス濃度は問題のない状態で維持されており、建物1階部分の空気及び地上の大気について科学的な安全は確保された状態にあると考えられる。

### (2) 地下水質調査結果

- ・地下水中のベンゼン、シアン、ヒ素の状況については、平成30年7月30日に評価した通り、地下水管理システムによる揚水開始後の状況と大きくは変わってはいないと考えられる。

### (3) 今後について

- ・専門家会議による指示を受けて行う空気測定及び濃度確認・全体確認モニタリングは今回の報告をもって終了し、今後は東京都が豊洲市場の管理の一環として空気測定及び地下水質測定を確実に行っていくことが必要である。
- ・今後の空気測定及び地下水質測定については、東京都が「土壌汚染対策工事と地下水管理に関する協議会\*」に結果を報告し、情報共有や意見交換を行いながら進めていただきたい。

\* 土壌汚染対策工事と地下水管理に関する協議会

学識経験者、市場業界、地元区、都民などから構成され、豊洲市場の土壌汚染対策工事の進捗状況や地下水管理について関係者間で情報共有し、意見交換を行う場として平成24年7月に設置